令和８年度　　長浜北星高等学校（全日制）　学校評価

本年度の重点目標

・生徒の能力の更なる向上を図るため、指導方法の工夫と改善を行う。
・対外的な情報発信力を向上させ、本校の特色・独自性を伝える。
・各系列の充実発展、高等養護学校との連携を図り、インクルーシブ教育の理念に根ざした協働事業をすすめていく。

領　域	重　点　評　価　項　目	中間評価(10月)	総合評価（３月）	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1　学校経営	総合学科への期待やニーズにあった教育活動を展開している。	A		
	学校の様子を保護者に説明するなど、学校説明に積極的に取り組んでいる。	A		
2　学習指導	系列の特色を生かし、魅力的でわかる授業づくりに努めている。	A		
	日常の授業や補習などを通じて基礎的・基本的な学力を身に付けさせている。	A		
3　生徒指導	遅刻・服装・頭髪・挨拶などの生活指導を行い、基本的生活習慣の確立に努めている。	A		
	生徒指導にあたって、家庭との連携を密に行っている。	A		
	いじめの防止および早期発見・早期対応に努めている。	A		
4　進路指導	生徒個々の進路希望に応じた進路情報の提供を行っている。	C		
	進路指導にあたって、面談指導や家庭との連絡を密に行っている。	C		
5　特別活動等	部活動や生徒会活動などの課外活動を活発に行っている。	A		
	学校行事が魅力あるものとなるように工夫改善を行っている。	A		
6　学校図書館	朝読書の指導を通して、生徒の読書習慣の定着に努めている。	A		
	図書便りなど情報発信を行い、図書館利用の啓発を行っている。	A		
7　保健・安全指導	心身ともに健康で安全な学校生活をおくれるよう努めている。	A		
	事故、怪我、病気などには迅速・適切に対応している。	A		
8　人権教育	人権尊重に関して計画的な指導を行っている。	B		
	生徒が明るく生き生きと生活できる学校づくりに努めている。	B		
9　環境教育	省エネやごみの分別収集など積極的に環境教育に取り組んでいる。	C		
	清掃活動を通じて、生徒の環境美化に対する姿勢を養っている。	C		
10　事務・管理	電話や来校者に対し丁寧に対応している。	B		
	予算執行の手続きを教職員に周知し、適正に執行している。	B		
11　その他 学校の取組	長浜北星高等養護学校と連携している。	C		
	「学校案内」「ホームページ」は、分かり易く、本校の魅力を伝えている。	C		

（注）・評価表の見方：　６月　学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表
１０月　中間評価（自己評価）の公表（８月までの教育活動に対する中間評価）ＡＢＣＤの４段階評価で示す。
３月　総合評価（自己評価・学校関係者評価）の公表（年間の教育活動に対する総合評価）ＡＢＣＤの４段階で示す。
・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。
・ＡＢＣＤの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合（達成度80%以上）はA、おおむね達成できた場合（達成度60%以上80%まで）はB、
あまり達成できていない場合（達成度40%以上60%まで）はC、達成できていない場合（達成度40%未満）はDとする。

学校のＵＲＬ：https://www.hokusei-h.shiga-ec.ed.jp/